

# 南の風

## No.44

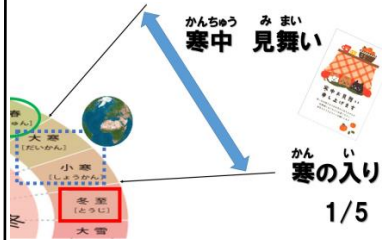
令和3年2月2日



〒851-0245 TEL095-836-0085  
長崎市千々町5 1 3 番地  
長崎市立南小中学校長  
岡田 政宏

### 学校教育目標

自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童・生徒の育成



「寒の入り」や「寒中」の説明用スライド

三学期の始業式と二月の全校集会で、カレンダーに登場する二十四節気子どもたちに紹介しました。1月8日には、「小寒」と「大寒」を取り上げました。一年で



地域の方と協働で製作した「南校区よかとこ力センター」。地域や学校の行事のほか、天気予報などでお馴染みの二十四節気も掲載しています。機会をとらえ子どもたちに紹介しています。

## よかとこ力センター 二十四節気で季節のお話を

南校区

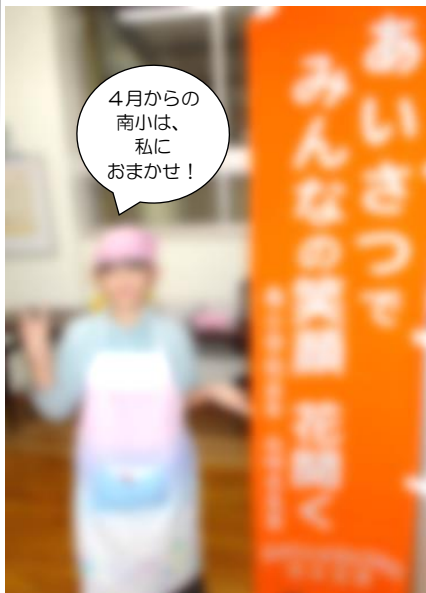
### 難しいことをやさしく やさしいことを深く 深いことをおもしろく

2月2日には、「立春」と「雨水」を取り上げました。特に季節の始まりを告げる「立春」は、旧暦ではほぼ正月。その前日を「節分」と呼び、旧暦では大みそか。鬼を追い払って新年を迎える行事です。節分と言えは2月3日というイメージですが、今年



一番寒さが厳しい時季。「小寒」から「寒の入り」と呼び、「大寒」の期間とあわせ、この期間を「寒中」と呼びます。この期間に出すお便りは、年賀状ではなく、「寒中見舞い」です。

## あいさつ あふれ 笑顔花咲く ふるさとに



4月からの南小は、私におまかせ!

明るく健全な地域づくりを目指して、社会福祉協議会茂木支部が募集している標語で今年ものぼり旗が出来上がりました。優秀賞としてのぼりに標語が載ったのは、小学五年生のさん。  
さんの作品は、「あいさつで みんなの笑顔 花開く」です。大崎の道路沿いに掲示されているほか、宮摺の海岸道路でも元気にはためいています。何事にもためいに取り組み、いつも友だちや後輩にやさしく接するさん。「だれもが自由に使える『道の駅』」というまちづくりのアイデアコンテストでも賞をいただきました。四月からは頼れる六年生です。

日。これは、明治30年以來124年ぶりなんだそうです。なぜ、それるかというところ、365日で地球は太陽のまわりを1周しきれます、まだ約1/4日手前なのです。四年間で約一日ずれれます。だから四年に一度、2月に1日増やし、地球がきちんと1周するのを待ってあげます。これが「うるう年」で、昨年の2月は29日まででありました。これらのお話を、イラストやアニメーションを使い、子どもたちに話しています。

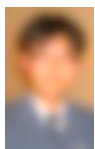


「立春」やその前日の「節分」の説明用スライド

のぼりの前(校長室)でハイピース。

裏面でも紹介しています。が、中学三年生の一人が、第一志望の私立高校への合格を決めました。(私の息子も中三ですが、まだ受験勉強中です。うらやましい。)これまでの、学習はもちろん、学校内外での生活のようすも総合的に評価いただいていた堂々の「合格」です。本当におめでとう。また、本校でただ一人の小学六年生も希望する中学校の受験に見事合格し、春からは遠距離通学となります。みんなみな、おめでとう。サポートされてこられた保護者の皆様も大変だったことと思いますが、ほつとされていることと思います。前々からお伝えしてきましたが、現在、本校中学校には、中三の二名しかおらず、小六も一名しかおりません。つまり、四月からは、中学校は「休校」措置となります。必然的に教頭をはじめ、すべての中学校籍の職員は、人事異動の対象となります。職員室の半分は空っぽになります。人は、新しい出会いのために、別れを経験すると言われています。頭では、分かっているつもりですが、なんとも寂しい限りです。コロナで送別会も無理ですよ。

### ケセラセラ



# 15の春がやってきました！

高校入試で第一志望校の栄冠を手にした二人の三年生に聞いてみました。

Q1：合格の発表を校長室で聞いた時の感想は？ Q2：今後の高校生活への期待は？ Q3：後輩の小学生へのメッセージを一言！



I S

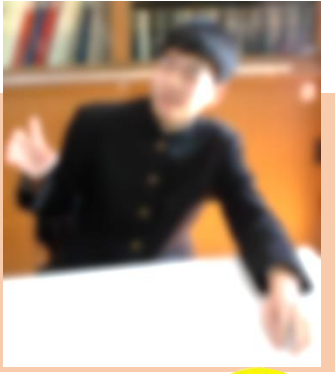


A1：正直、合格できると思ってなかったのですが、合格できて良かったと思います。嬉しすぎて、声が裏返った。（恥ずかしかったです。）

A2：まずは、しっかりと将来の夢に近づけるように、勉強を頑張りたい。そして、新しい友達と楽しい学校生活を送って、良い思い出をたくさん作りたい。

A3：テスト前だけ頑張って勉強するのはきついです。余裕をもってすると、いいかもね。私もきつい思いを何度もしました。（苦笑）今のうちから、頑張ってください！！

## O A



A1：最初「合格」という文字を見た時、一瞬「え？」となって固まり、その後、本当に自分が合格できたのかという驚きと、合格できて良かったという大きな喜びがありました。

A2：これまで以上に生物について詳しく勉強しながら、たくさんの人と楽しく過ごして、友だちをたくさん作りたいです。

A3：今のうちから勉強を少しずつ積み重ねていって、授業にも集中して頑張ってみてね！人数が少なくなっても、楽しく友だちと話していれば、自然とさびしくなくなるよ。

## 長崎市P連チャンネル

## 会長×校長 YouTube対談



1月27日、長崎市PTA連合会の広報誌とYouTube投稿のための対談収録が行われました。対談するのは、小川育友会長と私。カメラマンと進行役は、「コロナ禍」ということもあり、本校の 教頭をお願いしました。対談のタイトルは『With/After コロナ時代に対応する学校・PTA』です。編集ができ次第、広報誌とYouTubeで紹介されるそうです。（紹介されたらお知らせします。）現在すでに、淵中と橘が丘中が広報誌で紹介されたほか、TTA連合会のフェイスブックページをご覧ください。



## 24の瞳の願いに 応える学校をめざして

本校の児童生徒数の減少は著しく、特に中学校は、現在の三年生が卒業後に新たな入学予定はなく、休校の準備を進めざるを得ない状況である。そのような本校の強みは、個別最適化学習であり、特に威力を発揮するのがICTである。今年、本校では県内公立小中学校では初となる、オンライン学習をスタートさせた。成功できた要因はいくつかある。もちろん極小規模校なので端末の準備ができたということ。ICT

長崎市立南小中学校 校長 岡田 政宏



社会福祉協議会茂木支部の広報誌で紹介されました。



Tが苦手な教職員も果敢に挑戦したこと。そして、育友会長さんや自治会長さんの尽力があったことである。インターネット環境が十分でない家庭には、近所さんの協力があり、長崎ケーブルメディアさんは、無償で自治公民館へ高速インターネット回線を引いてくださった。オンライン学習というデジタルな取組だが、実は人々の絆と熱い思い、そして行動力といった、とてもアナログな取組が屋台骨となっている。

今年度、新型コロナウイルスの影響で全国的にICTの積極的な導入が加速した。長崎市も年度内にすべての公立小中学校に一人一台のコンピュータ端末を導入する。非常時はもちろんだが、これからの学校での「学びの在り方」が大きく変わる転機となることは確実である。本校十二名の教職員（市職員・講師等のぞく）で、これからも二十四の瞳をもつ十二名の子どもたちのために尽力していく所存である。